

夏ノ一表

西行四季物語

夏

ことしもすでにくれなんとす去年へこそ／＼まで
としの暮へくれ／＼しいとなみどもさま／＼に
せし事さすと思ひ出られて

とし暮しそのいとなみは忘られて

あらぬさまなるいそぎをそする

をのづからいはぬにしたふ人やあると

やすらふほどにとしのくれぬる